

LOVE in Letter 24

～輸血を受けた患者さんのメッセージ～

献血するにあたって誰かの為になればと思い 20 歳から始め 60 歳位迄、都合 60 回程度提供してきました。始めは血を抜かれる恐怖心から 200mL、献血後はホッとした感じと少しの達成感がありました、そして数年後からは 400mL を提供していました。

献血終了後の血液分析結果は、自分の健康維持に役立ったと思っております。その私がまさか輸血が必要な体になるとは思ってもみませんでした。

その頃の私は、当初風邪ぎみと思っておりましたが、友人との歩調にもついて行けなくなり、階段もゆっくり歩かないと息切れして苦しい状況で、「何かおかしい」と思い、病院を訪れた結果、即入院となりました。病名は「骨髄性異形症候群」聞きなれない病名と思いますが、正常な血液が作り出せない、いわゆる血液のガンです。

最初の治療は輸血から始まりました。輸血によって多少体調は回復しましたが、輸血と抗がん剤治療を続け、骨髄移植を行いました。

有難い事に骨髄提供ドナーとなってくれた方と、皆さんの献血による輸血によって、今では自らが血液を作ることができるようになり、輸血の必要もなくなりました。

献血をしてくださった皆様本当にありがとうございます。私のような病気以外でもたくさんの方が血液を必要とされています。代用する物がまだない今、皆様のご協力で「献血」をよろしくお願い致します。

併せて献血時 5mL 採取でドナー登録ができますので、骨髄バンクにもご協力よろしくお願い致します。